

令和7年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ふれあい健康センター（愛称：アクアパークにいがた）		
管理者名	福田道路・オーエンスグループ	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
担当課	環境部循環社会推進課		
所在地	新潟市西区笠木3629番地1		
根拠法令			
設置条例	新潟市ふれあい健康センター条例		
施設概要	敷地面積：17,065.43㎡ 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積：3,823.92㎡ 建築面積：2,605.34㎡ 主な施設内容 1階：アクアガーデン（流水プール、幼児用プール、気泡・噴流プール、たこつぼ湯、座湯、寝湯、ミストサウナ、屋外ジャグジー）、フロント、ロビー 2階：浴室（浴槽、ドライサウナ、水風呂、更衣室）、レストラン、カフェラウンジ、ロビーラウンジ、エクササイズスタジオ、休憩室、マッサージ室、キッズルーム		

施設設置目的
市民の健康の増進に寄与するとともに、リサイクル意識の向上に資することを目的として、新潟市ふれあい健康センターを設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
効率的人員配置、保守管理のコスト削減などでの運営経費の抑制や、市民ニーズの掌握による更なるサービス向上を図ることにより、施設の設置目的を達成するとともに、市民の余暇活動の充実を図る施設として活用されることを目指す。 指定管理者は、本施設を管理するにあたっては、次の各事項に留意して円滑に実施する。
ア 公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用を確保すること。
イ 市民の安全を最優先に考え、利用者にとって快適な環境を提供すること。
ウ 日常点検・定期点検による適切な施設の維持管理により、常に施設を安全で良好な状態に保つこと。
エ 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めるとともに、利用者の確保に向け、創意工夫をもって魅力ある施設運営を行うこと。
オ 新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知った情報について守秘義務を遵守すること。
カ 法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
キ 指定管理者制度を理解し、実践すること。

令和7 年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	目標利用者数の達成	年間利用者数251,000人以上	年間利用者数 228,711人	C	特に冬季の利用が落ち込み、目標に達することができなかった。魅力的な事業の企画実施やさらなる情報発信の強化により、目標達成を図っていただきたい。
	利用者満足度の向上	施設管理に関する利用者アンケートで「やや満足」以上が90%以上	令和7年8月実施 ご来場者様アンケート調査 93.1%	A	1年間の休館に伴ってほとんどのスタッフが入れ替わったが、職員研修に尽力し、目標を達成したことは高く評価できる。
	市民のリサイクル意識の向上	リサイクル意識向上啓発事業を年4回以上実施	・おもちゃ病院開院10回、129名参加。 ・夏休みエコ工作教室1回、12名参加。 ・リサイクル工場見学1回、21名参加。	A	目標よりも多くの事業を実施し、参加者より好評を得ていた。
	広報の充実	メディアへの掲載回数 年1回以上 HPやSNSでの情報発信 年50回以上	・メディア掲載回数 3回。 ・HP、LINE、X、インスタグラムで年100回以上の情報発信を行った。	A	出演交渉によりテレビ番組でのPRを行うなど、新たな広報手法に取り組んだ。HPやSNSを活用した広報も積極的に取り組んでおり、高く評価できる。
財 務	適正な財政運営	収入計画に基づいた収入の確保	計画に対する達成率94.4%	C	利用者数が目標に達しなかったことに伴い、利用料金収入も目標を達成することができなかった。
		事業費・臨時的経費を除く利用者1人あたりの管理運営コスト 587円以下	1人あたりの管理運営コスト 701円	C	人件費上昇や物価高騰の影響もあるが、利用者数が想定よりも減少したことで、1人あたりのコストが増大した。まずは利用者数の目標達成を図られたい。
	適正な財務管理	財務マニュアルの作成及び収支の記録	財務マニュアルに則り、適正に収支を記録し報告を行った。	B	
業 務	安全確保体制の確立	緊急時の対応マニュアルを整備するとともに、救急救命全体訓練、プール監視員救助訓練、防災訓練を年2回以上実施	緊急時対応マニュアルの追加整備を実施した。救急救命訓練、プール監視員救助訓練、防災訓練各1回実施。	C	指定管理者の都合により、各訓練が次年度に延期となった。次年度は計画どおり実施できるよう体制を整えてほしい。
	事故防止の取組み	有責事故発生件数 0件	有責事故の発生はなかった。	B	
	施設の清潔感の維持	各施設清潔度に関する利用者アンケートで「やや満足」以上がアクアガーデン・更衣室で80%以上、浴室・サウナで85%以上	各施設利用者満足度 アクアガーデン 81.0% 更衣室 72.0% 浴室・サウナ 85.3%	C	更衣室の床が濡れているとの意見が多かった。快適な利用環境の提供に向け、工夫してほしい。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書に定める事項を遵守、履行した。	B	
人 材	配置人員条件の充足	業務仕様書に定める人員配置及び保有資格事項の遵守	業務仕様書に定める事項を遵守した。	B	
	職員の業務理解度と能力向上	職員研修を年2回以上実施	雇入れ時研修や定期研修のほか、セクション別ミーティングを随時実施した。	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	就業規則、雇用契約、賃金他労働関係法令を遵守している。	B	

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B:要求水準(評価指標)が達成されている

C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。
(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんのでご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和7年4月にリニューアルオープンするに当たり、皆様に安心してご利用いただけるよう万全の態勢で臨みました。新規採用職員の教育訓練には特に力を入れて取り組んだ結果、利用者アンケートでは一定の評価をいただけたものと安堵いたしております。一方で、収支面においては課題の残る結果であったと認識いたしております。安定した収入を確保するために、様々なイベント等を企画・実施するとともに、きめ細かな情報発信を行う等、更なるサービスの向上に努め、また訪れたくなる施設作りを目指してまいります。

所管課による総合評価(所見)

1年間の休館を経てほとんどのスタッフが入れ替わったが、職員研修に注力するなどにより、目標を上回る利用者満足度を得たほか、会員の更新率も90%を超えており、休館前と変わらず質の高いホスピタリティを提供していた。また、令和6年度の長期休館を原因とした水質トラブルにも、関係機関と連携のうえ、早期改善に向けて誠実に対応していたことは高く評価できる。一方、特に冬季のビジター利用が落ち込み、利用者数やそれに付随した目標については達成できなかった。現在、力を入れて取り組んでいる広報の充実のほか、魅力的な事業の企画実施により、リピーターだけでなく、新規利用者獲得に向けて創意工夫を図ってほしい。